

## さいたま市に 女性自立支援施設の設置を

売春防止法に基づいて設置された婦人保護施設は、女性支援新法に基づいて来年度から女性自立支援施設となります。しかし、そもそも本市に婦人保護施設はなく、あらたな設置の検討もしていません。市はその理由を「これまで県の施設を活用してきて、県から定員を理由に入所を断られたケースがないため」と言いますが、私は「新法は、相談の始まりから生活再建支援、自立するところまで支えるのは、市区町村の責務と明記している。困難な問題を抱える女性たちにもっとも必要なのは安心して生活できる場所と、その場所とつながった支援。市として施設を設置すべきではないか」と質しました。市はようやく「相談体制の強化、連携強化等を踏まえ、今後研究する」と答えました。

## 所得税法第56条の廃止で 女性の経済的自立を支援すべき

「所得税法第56条を廃止するよう国に意見書を上げること」を求める請願の採択を求めましたが、他会派の反対で不採択となりました。56条は事業主の家族が従業員として働いても必要経費として認めない法律で、戦前の国家権力が、家父長制度の下で配偶者や家族の人格や労働を認めなかった名残です。2016年国連女性差別撤廃委員会の「56条が家族従業員女性の経済的自立を妨げている」という勧告を示して質しても、市は「女性の経済的自立を妨げているとは考えていない」と強弁しました。世界の国々は「家族従業員は従業員と同じ」としています。すでに全国570を超える自治体で意見書が採択され、自由法曹団も日本弁護士連合会も全国各地の税理士団体も意見書を採択しています。

全世界で進んでいるジェンダー平等を求める流れに大きく逆行し、国連からも専門家からも厳しい指摘を受けている「所得税法第56条」は1日も早く撤廃すべきです。

## 常勤職員の給与改定に合わせて 会計年度任用職員の給与改定を

会計年度任用職員の給与引き上げについて、国会でも大論争となり、日本共産党の国会議員が国務大臣から「必要な交付金は出す」「各自治体も常勤職員と同じように改定を」という答弁を引き出していますが、本市は「常勤は今年度4月に遡って給与改定するが、会計年度任用職員は来年度から」という立場を譲りません。

本市の会計年度任用職員は4116人。8割は女性。図書館司書、保育士、看護師、消費生活相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、専門性を要求される職種を会計年度任用職員が担っています。一刻も早い処遇改善を求めます。

ジェンダー平等を前に

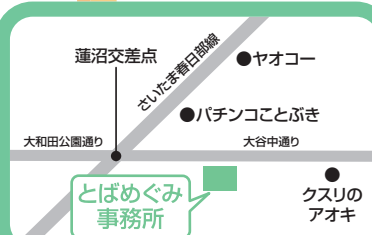
日本共産党 さいたま市議会議員

とばめぐみ



●とばめぐみ事務所  
見沼区連沼 471  
TEL 048-685-6240

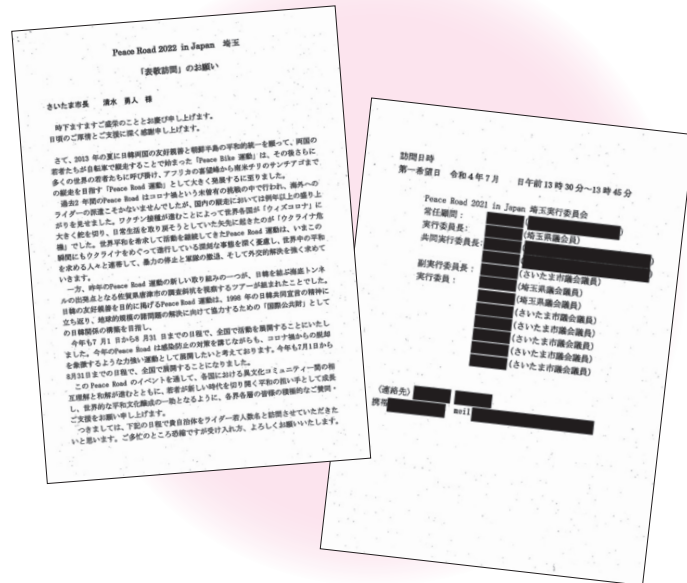
日本共産党さいたま市議団  
さいたま市浦和区常盤 6-4-4 (さいたま市議会内)  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165



## 関係議員の名前 未だ公開されず

文部科学省は昨年10月13日、教団に対する解散命令を東京地方裁判所に請求し、国会では財産保全と政治家との関係が焦点となりました。2022年9月議会でピースロード埼玉実行委員会の名簿を市長公室長の判断で黒塗りで提出した本市。「今後情報開示請求があれば検討する」と答弁していましたが、5回の情報開示請求に対し「個人情報保護の立場から」と開示を拒みました。

他自治体では同じピースロードの実行委員に関わった議員の肩書も名前も公開されています。黒塗りにしているのは本市のみ。全国弁連は、事件からちょうど1年になる昨年7月8日、政治家と統一協会の関係を断絶するためにも、国会議員、地方議員、すべての議員の関係を調査し、有権者に公表することが必要だと発表していますが、本市はこれを妨げています。統一協会は、政治家と撮った写真、政治家が参加した事実、政治家が名前を載せた名簿、これらを利用して信用させて信者を集めてきました。私たちは全容解明に全力を挙げます。



## 核兵器禁止条約に参加することを 政府に求める市民の声

ロシアもイスラエルも核兵器の使用をちらつかせるなか、核兵器禁止条約の参加は多くの市民のねがいです。国に参加を求めようとしないさいたま市で、市民は議会に市を動かすことを求めて請願を提出しました。意見書決議は全国674の議会で全自治体の38%にもものぼります。しかし今回も、他会派の反対多数で不採択となりました。

## 安心で安全な東大宮駅に

32年間、安全・快適・便利な東大宮駅を目指して運動をすすめてきた「東大宮駅利用者の会」。長年の運動が実を結び、快速停車が実現し、東西口ともに整備され、南側の末広踏切の拡幅工事も完了しました。2024年度は東口トイレも改修されます。急がれるのはホームドアの設置と改札の増設、西口の空き地の有効活用です。私は引き続き、会のみなさんと一緒に利用者の声を集め、市やJRにその声を届け、だれもが安心して利用できる東大宮駅に改善できるよう全力でがんばります。



## 信号機が2カ所設置されました

春岡公民館南側の交差点。信号機はありますが「子どもたちの通学時はとても危険」と保護者からの声。後付け形式で歩行者用信号を設置させることができました。

片柳地域の「山」交差点はT字型。通学時、曲がる車が多く、「信号が青でも子どもが渡れない」と、保護者と自治会長からの声。こちらは手押し式歩者分離信号機を設置させることができました。

